

ぶりんぐあっぷちば子ども発達センター

みどり子ども発達センター



毎日通園 さくら組

ぶりんぐあっぷは、

『学びは豊かな遊びの中に…』をスローガンに、発達の支援を必要とするお子様へ、運動、コミュニケーション、日常生活スキルへの支援を行いながら、ご家族と共にお子様の育ちを支える、児童福祉施設です。さくら組では、『毎日通うことで生活のリズムを身につける』『人とのやりとりを通してできることや分かる事を増やしていく』という目標を掲げ、きめ細やかなサービスを展開していきます。

- ◆児童福祉法に基づき千葉市の指定を受け、発達支援を必要とするお子様とご家族を対象にサービスの提供を行います。
- ◆小集団療育を基本とし、基本的な生活習慣、遊び、運動、コミュニケーションなど、家庭や地域の中で暮らしやすくするために必要な力をはぐくみます。
- ◆ご家族と一緒にお子様に合う支援方法を考え、お子様の成長や育児への手ごたえを感じていただけるよう努めてまいります。
- ◆お子様やご家族にとってより良い支援を行うために、必要に応じてお子様を取り巻く他機関との連携を図ります。

【概要】

対象：受給者証をお持ちの年少～年長児

時間：9時30分～13時30分 ※毎週木曜日は12時30分降園（給食あり）

その他、短縮日課（給食なし12時降園）を行うことがあります。

形態：集団指導を基本とします。個々の発達段階や状況に応じて個別対応を行います。

送迎：ご家族による送迎を基本としていますが、条件が合えばご自宅と施設間の送迎サービス

が可能です。※設定されたエリア・ルート内での送迎に限ります

※ドライバーによる一人送迎となります。安全に乗れるお子様が対象となります。

※お子様が上手に乗れる為のアイテムの活用など、適宜支援いたします。

給食：栄養士による管理のもと、当センター内で作る温かい食事を提供。お子様の食形態に必要な配慮を行います。また、月に1～2回のお弁当日、お楽しみクッキングデーとしてお子様と先生と一緒に食事を作るなど、バリエーション豊かなランチタイムを設定しています。

【療育内容について】

支援形態は、集団指導・複数担任制です。個々の発達段階や状況に応じて個別対応を行います。感覚統合の視点で子どもの成長発達・感覚特性等を理解し、応用行動分析学の理論・手法を用いて、日常生活動作、運動機能、コミュニケーション能力の向上を後押しします。

1日の流れ(集団の状況により適宜変更はあります)

- 09:30 お預かり(年中長児対象)
- 10:00 登園 うがい手洗い・身支度・おたより帳シール貼り
 - ★日常生活動作獲得のサポートを行います
- 10:15 遊び・制作・主活動
 - ★遊びの中で興味関心を広げます
- 11:00 お集まり
 - ★コミュニケーション力を養います
- 11:15 運動遊び
 - ★運動機能に働きかけます
- 11:50 手洗い・給食準備・排泄
- 12:00 給食
- 12:30 お口チェック・後片付け 目的別活動(個別指導含む)
- 13:20 身支度・帰りの会
- 13:30 降園

1年間の流れ

年間指導計画に沿って、支援を実施していきます。(別紙参照)

はじまりの会(入園式)、親子遠足、ファミリーデー、内科健診、おとまり会、クリスマス会、明日へ向かう会(卒園式)、卒園遠足等については、事前にご案内いたします。

支援に関する面談について

お子様とご家族への支援の窓口は、さくら組主担任保育士(入園時にお知らせいたします)もしくは児童発達支援管理責任者となります。

年間指導計画をお子様にご覧いただき、どのようなサポートを行うと目標が達成されるかをお示しするオリジナルの計画書(個別支援計画書)をもとにして、年2回(半年毎)個別面談を行います。

※成長発達に合わせ、定期モニタリングにより計画書の見直しを行います。

このほか、ご家族より相談支援をお申込みいただいた際には、時間調整を行い対応いたします。

【ご家族への支援について】

保護者会(さくらミーティング)開催

2か月に一度、プログラム内容の説明やお子様の姿や必要な支援についての共通理解を図る場を設けます。活動レポートを作成しお渡しします。さくら組保護者の交流の機会としても活用するほか、半年に一度、給食試食会も行います。

子育て講座(申込必要)

年4回の子育て講座を開催しています。

5月:子育て講座① 春のお話し会(今年度の概要説明、子どもの発達基礎知識他)

6月:子育て講座② ぱぱの会(子どもの発達基礎知識と遊ばせ方講習会)

10月:子育て講座③ 小児科医による子育て講演会

1月:子育て講座④ 冬のお話し会(各種ワークショップ、座談会等)

ペアレントトレーニング(申込必要)

ABA早期療育プログラム『ぺあすく』6か月の親子共学集中講座。さくら組在籍中でも受講できます。

タッチセラピー(申込必要)

親子のアタッチメントに着目した個別・集団講座開催

就学説明・相談会

2月、年中児ご家族へ、次年度の千葉市の就学に関する準備の流れをお知らせします。

送迎支援

ご希望を伺い、可能な範囲で送迎支援を実施します。ご希望が多数の場合、またお住まいの地域によって、ご希望通りに送迎支援が実施できない場合もございますので、ご了承ください。

家庭訪問

4月～6月にかけて、各ご家庭へ伺います。玄関先5分程の訪問となります。

写真

毎月10枚から20枚の写真データをLINEにて送信いたします。

【その他】

災害時対応

台風・大雪・地震・火災など緊急対応が必要と判断した場合には速やかに保護者様と連絡を取らせていただきます。災害の状況により登園時間の変更や休園になることがあります。また、お子様の安全確保のため、送迎サービスをご利用の場合でもお迎えに来ていただくこととなります。

毎月、火災又は地震を想定した避難訓練を行います。引き渡し訓練も定期的に行います。

地域の防災情報を定期的に更新しておりますので、ロビー掲示にてご確認ください。

他機関との連携

ご家族ご了承のもと、お子様やご家族が関わる他機関と、カンファレンスや電話連絡等を行い、連携を図ります。また、ちば子ども発達センターさくら組の見学も受け入れています。連携を図ることでお子様の状態や支援方法などの情報を共有し、より良い支援を目指します。

また、近隣幼稚園との交流の機会を設けており、支援者が付き添い、園庭遊び等を体験します（実施する場合は保護者様に承諾を得てからとなります）。

【お願い】

- 登園降園は時間厳守でお願いいたします。
- 週5日(月23日契約)のご利用を原則としております。
- お子様は規則正しい生活リズムを見につけ、グループ活動が充実するようご協力ください。
- 持ち物にはすべて記名してください
- 動きやすく、汚れても構わない服装で登園してください。
- お子様は自分で脱ぎ着する練習も行いますので、着脱しやすい衣服のご用意をお願いいたします。
- ご家族の私物や貴重品は各自の管理となります。また貴重品の持ち込みは必要最低限でお願いいたします。
- 医療機関にて検査等をお受けになった場合は、支援の効果測定のためにもご提示をお願いいたします。また服薬に関する情報提供は、お子様の健康状態を把握する上で欠かせませんので、必ずお願いいたします。(当施設において薬をお預かりすることはできませんのでご了承ください)
- 当センターでは、お子様を待たせた状態でのフィードバックは、安全管理上行いません。お話しやご相談事がある場合は、連絡帳にご記入いただくか、電話又はメールにて申し受けます。事業所内相談支援の活用もお勧めいたしますので、面談の申し込みを受付にて行ってください。
- 支援終了後は、お子様から目を離さないようにしてください。思わぬ事故につながっておりますので、駐車場及び校舎周辺でお子様を遊ばせることはお控えください。お子様と一緒に速やかに帰路につくことが難しい場合、支援員がお手伝いいたしますので、遠慮なくお知らせください。

- 療育時間中の保護者様による写真や動画の撮影は固くお断りしています。

毎日通園さくら組入園にあたりご準備いただくもの

※持ち物にはすべて記名をお願いします

- ★園で購入し入園式でお渡しします(諸経費として後日清算となります)。

カラー帽子・おたよりシール帳・クレパス・自由画帳・お誕生日カード・のり・粘土・粘土板・活動レポートつづり

※年中以上になると、ピアノカやお道具箱を使用することがあります。購入の場合お知らせいたします

- ★はじまりの会までに準備して下さい。

通園専用リュック

絵本袋(お着替え袋)

着替え

※全身分保管・使用のたびに追加・季節入れ替え・週末持ち帰り

おむつ使用の場合はおむつセット

※おむつを一つ一つビニール袋に入れて、袋とおむつの両方に記名してください。

おむつ持ち帰り袋

※お持ちいただいた際はトイレに設置されているお子様のボックスへ入れてください

※使用済みおむつは持ち帰りをお願いします。

ビニール袋

上履き・上履き袋(週末持ち帰り)

防災頭巾

水筒

給食用エプロン(スマック)

歯磨きセット

※ウェットティッシュ 一箱分を毎月初めにご用意ください。

※感染症対策により持ち物に変更が出る場合がございます。



Bring up

ぶりんぐあっぷ